



6月12日 5期目の市長任期として初登庁する栗市長

ごあいさつ

令和5年7月10日

7月に入りました。

毎年6月に東洋経済新報社が発表する「住みよさランキング」において、本市が2年ぶりに総合1位の評価をいただきました。このランキングは、全国812の市区ごとに“住みよさ”を表す指標を算出し、総合評価として順位付けしているものです。狭い市域である本市ではありますが、商業施設が多く、生活しやすい環境にあることで「利便度」が全国8位と、総合順位を引き上げる要因にもなっています。

住み続けていますと、この恵まれた環境が当たり前となってしまいますが、これまで野々市を創り上げてきた先人の努力に感謝し、さらに市民の皆さんが本当に「住みやすさ」を実感できる野々市をこれからも目指してまいります。

エネルギー価格の高騰により、厳しい経営環境におかれている中小企業の皆さんを対象に「野々市市中小企業エネルギー価格高騰対策支援金」事業を開始しました。昨年7月から今年6月までの任意の1か月分のエネルギー経費について、支払額に応じて支援するものです。

コロナ禍に加え、資材費や人件費、電気料金の高騰など、事業を継続するうえで大変厳しい状況が続きますが、本市の「住みよさ」を支えているのは、中小企業の皆さんであると思っています。本市としましても、できる限りの支援を精いっぱい行い、支えてまいりたいと思っています。

6月はアメリカ大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手が、日本人最多記録となる月間15本のホームランを放ち、投げても先発投手として5試合に登板と、大活躍しました。アメリカンリーグの月間MVPにも選ばれ、連日届くニュースに、日本中が大きな力をもたらしていることと思います。

7月1日に開催した「東京野々市会」の総会では、役員の皆さんから「ふるさと野々市の活躍が誇らしく、元気をもらっている」との話をいただきました。

大谷選手の活躍とまではいきませんが、応援してくださる「野々市ファン」のために、さらに元気な野々市を発信していきたいと思っています。

7月29日、30日は、実に4年ぶりとなる野々市じょんからまつりを開催いたします。会場にお越しになられる皆さんの笑顔にお会いできることを楽しみにしております。